
FNIRSI

LCR-ST2 Plus

ピンセット型LCRメーター（Plus） 日本語取扱説明書（参考訳）



ご使用前に安全上の注意を必ずお読みください。

翻訳・編集：泰宕商事株式会社

参考訳 v1 / 2026-10-12

参照原本：LCR-ST2 Intelligent Tweezers II User Manual V1.3、改訂2026-01-05、英語本文26～54ページ。通常版／Plus共通原本の
限定箇所を区別。

本書について

本書はメーカー原本をもとに、操作・仕様・安全上の注意を日本語で翻訳・整理した参考訳です。メーカー公式の日本語版ではありません。画面の文言、仕様、付属品が異なる場合は、実機の型番・ハードウェア版と対応するメーカー原本を確認してください。

メーカー原本の操作・仕様・安全注意を日本語で再構成した参考訳です。

構成

1. 安全・使用前の確認
2. 概要・各部・プローブ取付け
3. 起動・LCR測定・副値
4. 周波数掃引・電圧測定
5. 部品選別
6. システム設定・校正
7. 仕様・容量精度
8. インダクタンス・抵抗精度
9. 更新・メーカー保証

1. 安全・使用前の確認

- ・使用前に本書を読み、保管してください。メーカーサイトで原本の更新を確認できます。可燃性・爆発性環境では使用しないでください。
- ・高電圧の通電環境で使用せず、通電回路の未知信号を測らないでください。過電圧は損傷の原因です。
- ・静電容量を測る前にコンデンサーを完全に放電してください。放電されていないと永久的な損傷のおそれがあります。
- ・電圧モードの入力範囲は-30～+30Vです。範囲を超えないでください。抵抗・容量・インダクタンス測定では通電した回路を測らないでください。
- ・ピンセットの先端と部品の接触を確実にします。実装状態の測定は周辺回路の影響を受けるため推奨されず、値は参考で精度保証がありません。
- ・自動モードはR/C/Lの識別です。特殊条件では誤判別する場合があります。
- ・充電時の多少の発熱は原本で通常の現象と説明されます。ダイヤルは軽い力で操作し、主基板を無断で分解せず、強く曲げないでください。
- ・廃機器・廃電池は家庭ごみに混ぜず、地域の規則に従って処分してください。

原本の通電注意の解釈

注意章には「通電測定をしない」と「電圧測定は30V以下」が並記されています。本書は通電禁止をR/C/Lなどの部品測定に適用し、電圧機能でも未知信号・高電圧環境を避けるよう整理しています。CAT安全区分や商用電源対応の根拠は原本にありません。

2. 概要・各部・プローブ取付け

LCR-ST2はR／C／L、ダイオード、±30V電圧測定に対応するピンセット型測定器です。1.47インチカラー画面、磁気吸着、300mAhリチウム電池、5種類の周波数、掃引、選別、直列／並列等価値の同時表示を備えます。

各部	内容
ピンセット先端	測定部品を挟む。
画面	測定値、状態、各設定を表示。
電源／HOLDキー	長押しで起動／終了。短押しで測定値の保持／解除。
メニューキー（M図記号）	長押しでシステム設定／主画面へ戻る。LCR画面では短押しで等価モードへ。
Type-C	充電／データ通信。
ダイヤル	左右で選択、押して確定・項目切替。長押しは選別設定など。

先端取付け：位置決め穴を測定アームへ合わせ、ギザギザ面を内側へ向けます。プラスチックカバーをアームへ取り付け、ねじを締めます。取り外しは逆順です。原本の「アームは取り外せない」は先端交換時の注意として記載されています。

PlusのKelvinクリップ取付け
Plus版に限り、ピンセットアーム一式を本体のUSB形状の測定接続部から抜き、Kelvinクリップのコネクターを同じ接続部へ合わせて差し込みます。先端交換時のアーム分解禁止と、Plus版のユニット交換は区別します。充電用Type-Cへ誤接続せず、対応する測定接続部を原本図で確認してください。

3. 起動・LCR測定・副値

電源オフ時の電源キー長押しで起動、任意の画面で電源キー長押しで終了します。主画面はLCR、Sweep、Sorting、Voltage、Settingsの5機能です。ダイヤル左右で選択、中央押下で入ります。機能画面でメニューキーを長押しすると主画面へ戻ります。

LCR：ダイヤル左右でAuto／Resistance／Capacitance／Inductance／Diodeを切り替えます。Autoは抵抗・容量・インダクタンスの自動識別です。ダイヤル中央を押して周波数欄へ移り、左右で100Hz、120Hz、1kHz、10kHz、100kHzを選択します。さらに電圧欄で0.1V、0.3V、0.6V、1Vを選択します。

画面にはモード、周波数、測定電圧、電池残量、主測定値・単位、副値、HOLDを表示します。電源キー短押しで保持／解除します。

ダイヤルを左へ倒して1秒保持すると副値R（抵抗）／C（容量）／L（インダクタンス）／Z（インピーダンス）を切り替えます。右へ倒して1秒保持するとX（リアクタンス）／D（損失係数）／Q（品質係数）／ θ （位相角）を切り替えます。

LCR画面でメニューキーを短押しすると、直列／並列等価モデルの同時表示へ入ります。「+」は直列、「||」は並列を示し、最初の値がRs／Rp、2つ目がCs／CpまたはLs／Lpです。

4. 周波数掃引・電圧測定

Sweep：ダイヤル左右で抵抗／容量／インダクタンスを選択します。中央押下で測定電圧欄へ移り、左右で0.1／0.3／0.6／1Vを選びます。電源短押しで保持／解除します。画面は電池残量、現在周波数、各周波数の測定結果を表示します。100Hz～100kHzの対応周波数で結果を比較します。連続的な全周波数点を測る保証ではありません。

部品	比較する項目
インダクタンス	Ls（直列）、Lp（並列）、Q
静電容量	Cs（直列）、Cp（並列）、D
抵抗	Rs（ESR）、Rp（並列）、Q

メニュー欄の比較項目はダイヤル左右と中央短押しで切り替えます。

Voltage：画面は測定モード・範囲、電池残量、正負極性、現在値、単位、最大値、最小値を表示します。電源キー短押しでHOLD／解除です。測定電圧は-30～+30V以内に限定してください。精度、AC／DCの区別、最大・最小リセット方法は参照原本に詳述されていません。

5. 部品選別

Sorting：ダイヤル左右で抵抗／容量／インダクタンスを選びます。中央押下で周波数、測定電圧の項目を切り替え、左右で100Hz／120Hz／1kHz／10kHz／100kHz、0.1／0.3／0.6／1Vを設定します。

画面には電池残量、合格（緑）／不合格（赤）と各件数、公差、現在の測定値、パラメーター設定を表示します。ダイヤル長押しで公称値／公差などの設定対象を切り替え、ダイヤルを押して選んだ項目を調整します。公差の範囲や件数上限は原本に明記されていません。

周波数と測定電圧を揃え、接触を安定させて比較してください。自動識別の種別は参考であり、選別結果だけを部品の全用途への適合判定としないでください。

6. システム設定・校正

メニューキー長押しで設定へ入る／主画面へ戻ります。ダイヤル左右で上位／下位項目を選び、中央押下で入る・確定します。

項目	選択肢
言語	中国語／English
測定速度	Fast／Slow
起動画面	主メニュー／LCR／Sweep／Sorting／Voltage
画面方向	自動／右手／左手
明るさ	10～100%
音量	0～100%
無操作自動終了	なし／5／15／30分
校正	短絡／1Ω／10Ω／100Ω／1kΩ／10kΩ／100kΩ／1MΩ／10MΩ／開放／10V
About	モデル・バージョン
工場設定へ戻す	取消／確認

校正は基準が必要です
原本は校正項目を列挙しますが、標準器の要件、校正手順、周波数・電圧ごとの適用、初期化の校正データへの影響は明記されていません。適当な抵抗や電圧で書き換えず、メーカー指定の基準・手順を確認してください。ST1の電源短押しゼロ調整をST2へ流用しません。

7. 仕様・容量精度

項目	原本の値
画面	1.47インチ高精細カラー
電池	300mAhリチウム電池
持続時間	約3時間（詳細条件なし）
充電／データ端子	Type-C（給電定格は原本に明記なし）
寸法	31×170.7×20.3mm
本体重量	約60.8g
使用環境	0～50 ° C、75%RH以下
保管環境	-20～60 ° C、75%RH以下
ダイオード	順方向電圧≤0.7V
電圧	±30V（精度記載なし）

精度は原本の「x% ± 3 digits」をカウント表記で掲載します。誤差式の基準値・試験条件の詳細は明記されていません。
「—」は原本で精度の記載がない組合せです。

容量範囲	100/120Hz	1kHz	10kHz	100kHz
1～22mF	5% ± 3	5% ± 3	—	—
1 μ F～1mF	2% ± 3	2% ± 3	2% ± 3	5% ± 3
1nF～1 μ F	2% ± 3	0.5% ± 3	0.5% ± 3	5% ± 3
1pF～1nF	—	2% ± 3	2% ± 3	5% ± 3

英語表の誤記
英語容量表の見出しは100Hz/20Hzですが、概要・操作・中国語表は100Hz/120Hzで一致します。本書は120Hzとして整理しています。「Range(Hz)」は部品量の範囲のため、Hz見出しを付けません。

8. インダクタンス・抵抗精度

精度記号は前章と同じです。範囲境界の重複は原本のままです。

インダクタンス	100/120Hz	1kHz	10kHz	100kHz
1～10H	5% ±3	5% ±3	—	—
1mH～1H	2% ±3	2% ±3	—	—
10 μH～1mH	2% ±3	0.5% ±3	0.5% ±3	5% ±3
1～10 μH	—	2% ±3	2% ±3	5% ±3
抵抗	100/120Hz	1kHz	10kHz	100kHz
1～10MΩ	5% ±3	5% ±3	—	—
1kΩ～1MΩ	1% ±3	0.5% ±3	1% ±3	—
1Ω～1kΩ	1% ±3	0.5% ±3	1% ±3	5% ±3
10mΩ～1Ω	2% ±3	2% ±3	2% ±3	5% ±3

9. 更新・メーカー保証

電源オフ時にダイヤルを押し続け、そのまま電源キーを押してファームウェア更新画面へ入ります。データ対応ケーブルでPCと接続し、表示されるフォルダーへ対応するメーカー公式ファームウェアをコピーします。更新完了後に自動再起動します。更新中は給電・ケーブルを切らないでください。

メーカー：Shenzhen FNIRSI Technology Co., Ltd.。原本住所：深圳市龍華区大浪街道・偉華達工業園C棟西側8階。
0755-28020752、support@fnirsi.com、business@fnirsi.com、www.fnirsi.com。原本の実施規格SJ/T
10298-1991は、日本での認証確認を意味しません。

原本の保証は、販売日起算の保証期間中、説明書に従った設置と正常環境・条件で、原材料・加工の欠陥による故障を条項に従って無償修理すると説明します。保証カードは保管し、紛失時の再発行はありません。具体的な保証期間は本文に記載されていません。

有償修理の例は、有効な保証カード原本がない、要求・規格に合わない設置、設置環境の付属品不適合、不適切な使用・保管・無断分解／修理、保証期間経過です。これはメーカー原本の紹介であり、泰宕商事の販売保証条件を新たに約束しません。

保証記録として、型番、数量、購入店と連絡先・住所、請求書／注文番号、購入日、利用者名・住所・連絡先、故障内容を保管してください。

参照資料とお問い合わせ

参照原本：LCR-ST2 Intelligent Tweezers II User Manual V1.3、改訂2026-01-05、英語本文26～54ページ。通常版／Plus共通原本の限定箇所を区別。

原本の製造元：Shenzhen FNIRSI Technology Co., Ltd.

メーカー資料：<https://taigo-shoji.co.jp/manuals/fnirsi/lcr-st2-plus-multi-96719c359d28.pdf>

製品・相談窓口：taigo-shoji.co.jp

お問い合わせ：support@taigo-shoji.co.jp

保証・初期不良対応は購入先の案内をご確認ください。原本にあるメーカー独自の保証延長、販売条件、広告表現は、泰宕商事の保証条件として転記していません。

原本との対応

原本の章・ページ	本書での扱い
英語26～29・51ページ	安全・使用注意、概要。通電測定と電圧機能の境界を整理。
30～34ページ	全仕様・周波数別精度。20Hz見出しを中国語と照合。
35～40ページ	各部・先端取付け・Plus限定Kelvin夾。
41～49ページ	全モード、HOLD、副値、直並列、掃引、電圧、選別、全設定・校正。
50～54ページ・カード	更新、製造元、メーカー保証・記録。